

平成22年度 海外派遣教員現況報告

コロンバス日本語補習校 中原寛之

岡山県国際理解教育研究会の皆様、大変長らくご無沙汰しております。倉敷市立船穂小学校よりオハイオ州コロンバス日本語補習校に派遣されております、中原寛之です。

本校着任以来何かと忙しい日々が続き、気がつけば帰国も間近というタイミングで、ようやく初めての現況報告をするようなことになってしまいました。長い間すっかり失念しており、帰国のための荷造りをしていた時に原稿依頼の文書が出てきて、大あわてで報告書を作成した次第です。私の不手際で現況報告がここまで遅くなってしまったことを反省し、深くお詫びいたします。本当に申し訳ありませんでした。

さて、このオハイオの地に着任以来、早いものでもう3年近くが過ぎました。土曜日だけの授業、平日の事務作業、初めての管理職と、当初はとまどうことばかりでしたが、今では仕事にも慣れ、自分のリズムを作ることができるようになってきました。3年経ってもまだまだ失敗することが多いですが、今の仕事にやり甲斐や楽しさを感じながら頑張っています。

平成23年1月現在、本校には幼稚部から高等部まで、約480名の子どもたちが在籍しています。事務職員を含めた職員数は36名で、そのうち日本からの派遣教員は校長先生と私の2名のみです。先生方は全て現地採用で、中には大学生の方もおられます。日本の教員免許をお持ちの方はごく少数で、ほとんどの先生方は今までの派遣教員から指導されてきたことをベースに、自分なりの指導法を確立しておられます。私はその先生方の指導にあたっているわけですが、大変個性的な先生方が多く、組織としての団結力や強調性には若干欠ける面があります。そこを何とか組織として機能させようと、3年間かけて試行錯誤してきたわけですが、その成果はある程度現れてきたと思っています。

そんな中、先生方との人間関係は年を追うごとに良好なものになり、指導させていただいたことを気持ちよく受け入れてくださったり、アドバイスに対して感謝してくださったり、といった場面が増えてきました。また、子どもたちとの人間関係もどんどん深まってきています。

本校は、隣接している二つの現地校校舎を土曜日に借用しています。一つは幼小部用校舎、もう一つは中高等部用校舎です。初年度は中高等部の方の責任者として勤務しており、幼小部の校舎の方へは行事等で用事があるとき以外は行くことがありませんでした。そのため、幼児や小学生にはなかなか顔を覚えてもらえませんでしたし、日本で経験のない中高等部の授業について指導助言しなければならず、かなり大変な思いをしました。昨年度より担当が幼小部校舎に変わり、本来の守備範囲である小学部を中心に指導助言をする立場になりましたので、日本で培ってきた経験が活かせるようになり、より楽しく仕事を進めることができます。

管理職という立場上、率先して授業を行うことはあまりありませんが、ここ2年は出前授業という形で小学部を中心にある程度授業をさせていただいています。子どもたちの実態が日本とはかなり違うため、思ったとおりの授業展開にならないことが多く、決してほめられた内容ではないのですが、子どもたちのやる気を引き出し、積極的に授業に参加させるという面ではうまくいったと思いますし、参観された先生方に日本の学校で行われている授業の一端をお見せすることができたのではないかと思います。

このような形で、授業の進め方や子どもたちとの人間関係作りのポイントをお伝えしたり、評価のノ

ウハウをお伝えしたり、諸行事の計画を立てたり、といったことが主な仕事内容だったわけですが、この3年間でそれなりの成果を挙げることができたと思っています。来年度は私も校長先生も帰国し、新しい派遣教員が2名同時に来られるので、わずかな引き継ぎ期間の中で本補習校のエッセンスをしっかりと伝えし、今まで努力してこられた先生方の素晴らしい遺産を伝えていくことが課題であると考えています。

アメリカ生活にも仕事にもようやく慣れたところでの帰国になり、寂しい気持ちもありますが、これからが本当の勝負だと思っています。この3年間で経験したことや新たに培った力を、岡山に帰ってからの教員生活で存分に活かすことができるよう、誠心誠意頑張っていきたいと思っています。

以下、本校行事の写真をいくつか添付します。



6 / 1 2 運動会 大玉転がし



7 / 3 1 幼稚部 水遊び



9 / 1 8 中学部修学旅行



1 0 / 2 小学部修学旅行



1 0 / 2 幼小学部遠足



1 1 / 2 0 学習発表会